

「京丹後市民民れんけい推進本部」の

1 「まちづくり総合戦略アドバイザー」として

東国原 英夫氏（元宮崎県知事）

2 「コロナ対策・スポーツ交流戦略アドバイザー」として

梨田 昌孝氏（NHKプロ野球解説、日刊スポーツ野球評論家、内閣官房コロナ対策サポーター）

3 「文化芸術戦略アドバイザー」として

榎木 孝明氏（俳優）

4 「いのち・生活支援戦略アドバイザー」として

玄 秀盛氏（公益社団法人日本駆け込み寺理事、一般社団法人再チャレンジ支援機構理事）

への委嘱について

令和2年11月18日
京丹後市役所

京丹後市では、8月1日付けで、市外の先進企業や大学等と市内の企業や団体・住民の連携を促進し、本市の各分野での民間集積を高めるとともに、各種産業振興、福祉、教育、防災など様々な分野における将来の自律的發展につなげていくため、「民民れんけい推進本部」を設置しました。

同本部において、政策提言や産・官・学連携の強化などを支援していただくアドバイザーを12月1日付けで下記の通り委嘱します。

役職名	委嘱する方
まちづくり総合戦略 アドバイザー	元宮崎県知事、前衆議院議員 東国原 英夫氏 （ひがしこくばる ひでお）
コロナ対策・スポーツ 交流戦略アドバイザー	NHKプロ野球解説、日刊スポーツ野球評論家、内閣官房コロナ対策サポーター 梨田 昌孝氏 （なした まさたか）
文化芸術戦略 アドバイザー	俳優 榎木 孝明氏 （えのき たかあき）
いのち・生活支援戦略 アドバイザー	公益社団法人日本駆け込み寺理事、一般社団法人再チャレンジ支援機構理事 玄 秀盛氏 （げん ひでもり）

【問い合わせ先】

商工観光部商工振興課 担当：島貫・小山
電話：0772-69-0440、ファックス：0772-72-2030
メール：shokoshinko@city.kyotango.lg.jp

「京丹後市民民れんけい推進本部」について

(1) 設 置

市外の先進企業や大学等と市内の企業や団体・住民の連携を促進し、本市の各分野での民間集積を高めるとともに、各種産業振興、福祉、教育、防災など様々な分野における将来の自律的發展につなげていくため、市役所内に市長を本部長とした「京丹後市民民れんけい推進本部」を令和2年8月1日付で設置しました。

【3つの「れんけい」】

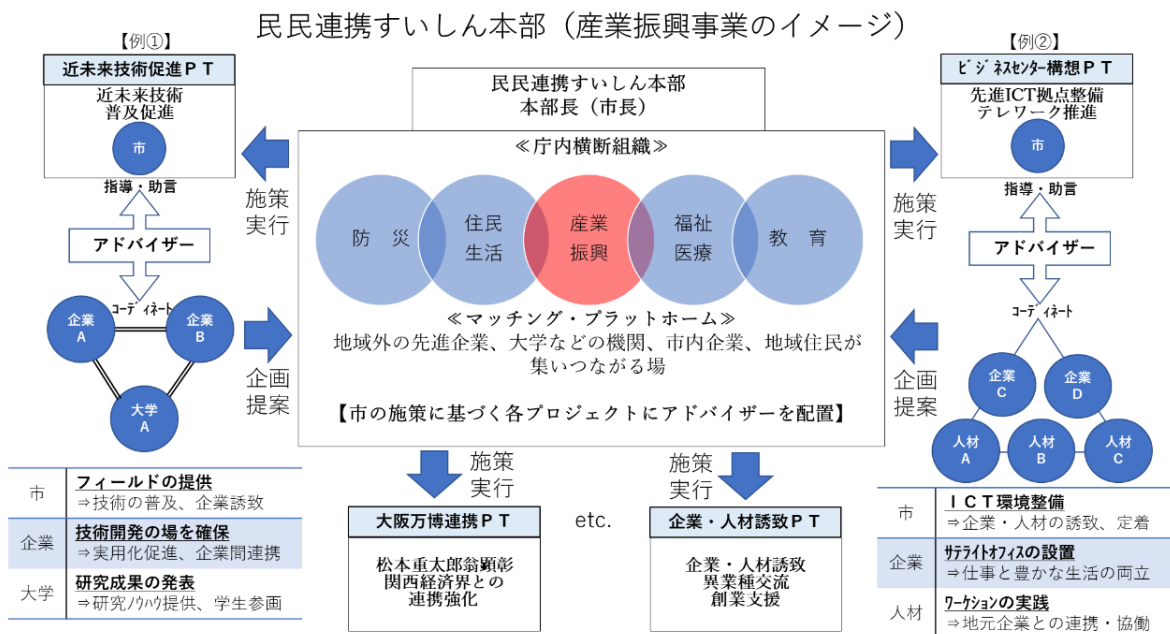
・連携、連系、連継

市民の力を「たずさえ」、「つなげる」、「つづける」

(2) 構 成

- ・本部長 市長
- ・副本部長 副市長、教育長
- ・本部員 議世事務局長、市長公室長、総務部長、市民環境部長、医療部長、健康長寿福祉部長、農林水産部長、商工観光部長、建設部長、会計管理者、教育次長、消防長、上下水道部長及び危機管理監
(事務局：商工観光部商工振興課)

(3) イメージ



京丹後市民民れんけい推進本部アドバイザー一覧（令和2年12月1日現在）

	役職名		氏名
1	総合戦略アドバイザー (令和2年8月1日付委嘱)		前京都府知事 京都産業大学 学長特別補佐 法学部教授 山田 啓二氏 (やまだ けいじ)
2	ICT 戦略アドバイザー (令和2年8月1日付委嘱)		元総務省大臣官房総括審議官 元内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局次長 山崎 俊巳氏 (やまざき としみ)
3	ふるさと創生・働き方戦略 アドバイザー (令和2年8月21日付委嘱)		三菱総合研究所 主席研究員 松田智生氏 (まつだ ともお)
4	医療・健康戦略 アドバイザー (令和2年11月1日付委嘱)		元厚生労働事務次官、元医政局長 (株)日本ヘルスケア総合研究所上席研究員 二川一男氏 (ふたがわ かずお)
5	産業連携戦略アドバイザー (令和2年11月1日付委嘱)		公益社団法人関西経済連合会 専務理事 関総一郎氏 (せき そういちろう)
6	産業連携戦略アドバイザー (令和2年11月1日付委嘱)		大阪商工会議所 専務理事 宮城 勉 (みやぎ つとむ)
7	まちづくり総合戦略 アドバイザー (令和2年12月1日付委嘱)		元宮崎県知事、前衆議院議員 東国原 英夫氏 (ひがしこくばる ひでお)
8	コロナ対策・スポーツ交流 戦略アドバイザー (令和2年12月1日付委嘱)		NHK プロ野球解説、日刊スポーツ野球評論家、内閣官房コロナ対策サポーター 梨田 昌孝氏 (なしだ まさたか)
9	文化芸術戦略アドバイザー (令和2年12月1日付委嘱)		俳優 榎木 孝明氏 (えのき たかあき)
10	いのち・生活支援戦略 アドバイザー (令和2年12月1日付委嘱)		公益社団法人日本駆け込み寺理事、一般社団法人再チャレンジ支援機構理事 玄 秀盛氏 (げん ひでもり)



東国原 英夫

京丹後市民民れんけい推進本部 まちづくり総合戦略アドバイザー

【プロフィール】

東国原英夫（ひがしこくばる ひでお）
1957年9月16日 宮崎県都城市生
元宮崎県知事・前衆議院議員

現在は各メディア、全国各地での講演会、勉強会などに出演し、地方分権のあり方、若者の政治参加について訴え続けている。

著書に創英社/三省堂より「決断の真実」、アスコムより「人生を劇的に変える東国原式勉強法」など他多数。

【就任にあたってのコメント】

コロナ後の地方創生については、住民の皆さんが全員参加していく自治運営により「まち」全体を活性化させていくことが重要です。安全・安心や健康、環境に加えて、「人のつながり」を大切にする京丹後市のポストコロナの地方創生への向き合い方については、なるほどと共鳴しています。

そのために「公」と「民」をつなぐ役割が重要。知事時代の経験も活かして、その部分についてお手伝いできればと思います。



梨田 昌孝

京丹後市民民れんけい推進本部 コロナ対策・スポーツ交流戦略アドバイザー

【プロフィール】

梨田昌孝（なした まさたか）
1953年8月4日 島根県浜田市生
浜田高校から近鉄バファローズ入団。
現役引退後は大阪近鉄バファローズ、
北海道日本ハムファイターズ、東北楽
天ゴールデンイーグルスで監督を務め
る。現在はNHKプロ野球解説、日刊
スポーツ野球評論家。

著書にベースボール・マガジン社
「梨田昌孝の超野球学」「戦術眼」など。

【就任にあたってのコメント】

コロナの関係では、政府のコ
ロナ対策サポーターにもなって
いるので、感染防止対策の普及
など少しでもお役に立ちたい。

同じ捕手・監督出身の野村克
也さんが名誉市民の京丹後市に
は、ご縁を感じている。野球に
限らずスポーツ全般について応
援したい。



榎木 孝明

京丹後市民民れんけい推進本部 文化芸術戦略アドバイザー

【プロフィール】

榎木孝明（えのき たかあき）

1956年1月5日 鹿児島県生

武蔵野美術大学デザイン科に学んだのち、劇団四季入団。

1981年『オンディーヌ』で初主演。

1983年劇団四季を退団し、翌年のNHK朝の連続テレビ小説『ロマンス』の主演でテレビデビュー。以後、映画『天と地と』テレビ『浅見光彦シリーズ』『NHK大河ドラマ』、舞台などで活躍。絵と旅を好み、アジア各地を中心に世界の風景を描き続けている。

【就任にあたってのコメント】

京都は時代劇の撮影などでよく訪れ、また、撮影の合間には府内近郊の散策に出向き、絵を描いたりしているのので、京都全体に親近感を持っています。

歴史文化の関係では、例えば、空き家などを修復し歴史文化としての日本の風景を再現して、そこに人が住み時代劇の撮影現場になれば観光スポットにもなります。

京丹後市では、例えば、時代劇を撮影できるロケ地さがしや歴史文化のある時代風景の再現、ロケ地づくりなどのお手伝いができるのであれば嬉しいし、絵の個展開催など文化芸術の方面で、できる範囲で地方創生に協力できればと思っています。



玄 秀盛

京丹後市民民れんけい推進本部 いのち・生活支援戦略アドバイザー

【プロフィール】

玄 秀盛（げん ひでもり）

1956年5月24日 大阪市生

20代から40代は「金儲け」に心血を注ぐ。2000年に白血病の原因となるウイルスの感染者であることが判明。それを機に「NPO法人ソーシャルマイノリティ協会」を設立。DV、家庭内暴力、虐待、ひきこもり、金銭トラブルなど、悩み苦しむ人々の救済と、自身の「生きる証」を残すため、現代版駆け込み寺の活動に身を投じる。

2012年11月、「公益社団法人日本駆け込み寺」に組織変更。

2014年4月、社会復帰が困難な刑務所出所者等の支援を行なう「一般社団法人再チャレンジ支援機構」を設立。

【就任にあたってのコメント】

コロナ禍の中で生活がひっ迫している一人ひとりをどう支えるか。経済的なことだけではなく、DV、虐待、いじめ、ひきこもりなど命に直結している、日常的に起こる問題に対する相談などで少しでも力になればいい。